

【現代舞踊ジュニア部 講評】

■皆さん大変技術的にレベルが年々高くなり、甲乙付けがたく拝見させて頂きました。作品も多様になり、ご指導の先生方のご苦勞が目に浮かぶ様です。その中で1つ重要な事項として、各作品における美の追求度です。ぜひ念頭において、作品の振付・指導に、ダンサーと共に追求して欲しいと思います。この世に1つしかない真にオリジナリティーあふれる作品をお待ちしております。

■指導・振付をされる先生方の工夫と運動の御苦勞を感じました。

テーマを掘り下げるような個性的な振付と、動きの遅滞のない流れなど出演者の皆さんが身につけるまでの努力も素晴らしいです。

全身に行き渡る意識と、細やかなしぐさ、主題を表現する感情の変化など、舞踊家としてより多くの舞台上で活躍されるよう、ますますのご精進を願っております。

■技術の向上は素晴らしく目を見張るばかりです。不思議と同じ振りが多く戸惑うことも事実です。その作品にしかない動きが出てくるとと

でも勉強になりますし、見ていて嬉しくなります。もっと自由に新しい動きに挑戦していかれることを期待しております。

■ジュニア部出場の皆さんは技術面でもレベルが高く、良く踊り込んで堂々と踊る姿はとても素敵でした。もう一步作品の中に入り込んで表現したい事、音楽との関係性等を考えると更に踊りの世界が広がると思います。

ジュニアは振りを踊るだけではなく作品を踊る。そして自分ならではの表現も大切にして欲しいと思います。今後ますます頑張ってください。

■1、基礎練習をしっかり行って下さい。

2、振付をいただいたらていねいに踊る。特に動きと働きの間を大切に。

3、アラベスクの動きは自身の真後ろに上げる、軸からズレない。

4、指導者、振付者の先生方へ

本年は出で横たわる始まりが多くあり何故？と思いました。またルルベなしのバットマン、床運動の多さ、ジャンプの後は必ずとって

いほど転る。同じような振付が目立しました。これで良いのでしょうか？ また、広い空間のめぐろパーシモンホールを十分に使用していないことも気になりました。

身体全体で踊る、がダンスだと思います。ルルベしないのはいかななものでしょうか。

- ほとんどの方が高い基礎力を持っています。ただ、その基礎力を先生がどう生かすかで、舞台のレベルに差が付くように思われました。
- 生徒が持っている技術を生かして何を表現させるか。ただ新体操のような技を並べても、観る者を感動させることはできません。テーマを生徒に明確に伝えることも大切だと思います。
- 音楽が本当に作品にふさわしいものであるかも気になりました。厳選されている作品は魅力を感じるものが多かったです。

- この部門は年齢的に変化する時期で出場者も大人に近い雰囲気の方から、子供さんのような可愛らしい方、そしてジュニアらしさ十分の方までさまざま、それぞれ、それに合せた工夫がされていて大変楽しく見させていただきました。この段階(ジュニア)でもっとも重要な

は、まず身体のコントロール（自分の思うように身体を動かす）力、
わざ
術です。そして、それによって振付や作品の意味するところを十分に
表現するように努めることです。

今回の作品のこれからについては、まず振付をもう一度しっかりと身
につけること、そして作品と動きの意味をさらに理解すること。そし
て、音楽をきちんと身体で受けとめて、それにのって動くように。表
現については、まず身体の動きが重要。顔の表情については、無理に
作るのではなく踊っている時の心理や音楽への反応が自然と表情に出
ると見る人の共感も得やすいと思います。

- 何ごともきびしい現在、ジュニアは最も多感な年齢、皆さん がんばり
ました。今を生きる！現代舞踊は、正に時代を生きてます。今、伝え
たいことを、心と身体で現わすことが、現代舞踊の醍醐味（大切）で
す。未知の未来に 踊りの力を一緒にあつく もやしましょう。地球の平
和を祈って、精一杯 表現の力を信じて進みましょう。 振付の先生の
想い、それを踊る人がどう解釈して踊るのか、ドンドン話し合い、動
いてみるのはどうでしょう。
期待しています。

■全体の印象としては、タイトルやテーマに独自性を出そうとする作品が増えたように感じました。こちらも見ている面白く、振付される先生と踊る生徒さんの熱心な取り組みを思い、背筋が伸びました。一方、動きの面では相変わらず腰の柔軟性に頼ったものも多く見られ、将来が心配になりました。課題曲ではないので、「これができなければ駄目！！」という動きもポーズもありません。

どうか自分らしさを思い切り発揮して、伸びやかに育てていただきたいと願います。

お疲れ様でした。

■ジュニア部における身体能力の高さは進化し続け、今年もテクニックに目を見張るものがありました。しかし、同じようなテクニックがどの作品にも見られ、テーマとの繋がりは何となく感じたのも確かです。又、終わりがハッキリせず幕に入ってしまう方も多く残念に思いました。

惜しくも入選を逃した方は諦めずに来年も是非挑戦して下さい。

継続は力なり！！

決選に進まれる方は練習の成果が発揮される様に祈ります。